

離島等の中・長距離海上電波伝搬に適した 無線アクセスシステム構築のための調査検討会 開催趣旨

政府は「IT 新改革戦略」(06 年 1 月、IT 戦略本部決定)の政策目標を推進するため、本年度「IT 政策ロードマップ」及び「重点計画□ 2008」を決定した。IT 基盤整備は、重点計画の大きな柱とされ、国民の誰もが「いつでも、どこでも」ブロードバンド環境を利用可能とするために、2010 年度までにブロードバンド・ゼロ地域を解消することが示されている。総務省においても、「次世代ブロードバンド戦略 2010」(2006 年 8 月)の目標の具体化のため、本年 6 月の「デジタル・ディバイド解消戦略会議」報告書に基づき、ブロードバンド整備の推進を加速させることとしている。

一方、2008 年 3 月末におけるブロードバンド世帯カバー率は、全国で 98.3%、九州で 96.2%を達成したが、全国と九州地域では依然として 2.1 ポイントの格差が存在している。これをブロードバンドが利用できない世帯に換算すると、全国 88 万世帯に対し九州地域が 21 万世帯と全国の約 4 分の 1 を占めることになる。さらに九州地域では、ブロードバンド・ゼロ世帯の 3 分の 1 弱の約 6 万世帯が海底ケーブル等が構築困難な離島地域に存在している。

このため、2010 年ブロードバンド・ゼロ地域解消の取組みを推進するには、比較的安価で回線構築の柔軟性等の特徴を持つ無線アクセスシステムによる離島等へのブロードバンドネットワーク環境の構築が有効な手段となる。

このような背景から、本検討会では、離島等までの中・長距離の海上伝搬路において、海上電波伝搬に適した無線アクセスシステム構築のために、複数周波数帯の各種無線アクセスシステムの電波伝搬特性の把握、電波伝搬技術について調査検討を行い、もって周波数の有効利用に資するとともにブロードバンド整備促進を目的とするものである。